

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

試験科目	政治学研究科 政治学専攻 修士課程《外国人》	2026年度 秋季	試験時間
日本語			90分

辞書参照（可・**否**）

[注 意] 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

以下の文章を読み、問1～問6に答えなさい。解答は解答用紙に記入すること。

主流派メディアとアウトサイダー・メディアは、その行動様式、報道姿勢などが大きく異なる。前者が一定のルールや規範を持ち、職業倫理を内面化させたジャーナリストが信頼に足る情報を編集して社会に提供することを理念としているのに対し、アウトサイダー・メディアは、従来の職業ジャーナリストの規範に縛られることを拒否し、さらに既存メディアの正統性自体を正面から批判する。むしろ既存メディアの保持してきた「**A**」、特権的地位を「暴露」し、「**B**」から非難を向けるのである。彼らは主流派メディアとは逆に、「既存の権威に拠らないこと」を自らの正統性の根拠とし、視聴者・読者を引き付けようとする。その結果、いまやジャーナリズムを「ひとまとまりの社会制度」としてみることはできなくなっている。

ではそもそも従来のメディアには、どれだけ正統性があったのか。アメリカのメディア研究者のマット・カールソンは、メディア（ジャーナリズム）が(c)所与としてきた自らの正統性について、次のように論じている。彼はジャーナリズムとは、この世界について適切な叙述を行う役割をもつ、文化的な実践活動であるとしたうえで、このメディアの意義、あり方をめぐる正統性は、実際にはメディア内外からのたえざる競合と批判にさらされつつ、日々獲得されてきたものであるとする。メディアの「権威」は(d)自明のものではない。多様なアクターが常にメディアの在り方をめぐる議論に関与し、メディアの側も自己定義を変化させることによって、その正統性が社会的に共有されてきた、というのである。

そのさい彼が提示するのが、メディアをめぐる「メタジャーナリズム言説」という概念である。メタジャーナリズム言説とは、「**E**」をいう。メディアの存在価値を保障してきたのも、まさにこのメタジャーナリズム言説である。ジャーナリズムが正統化されるのは、ジャーナリズムが日々行う活動をめぐる言説を通してであり、所与のものではない。メディアの内部者はもちろん、政治家、一般大衆など、さまざまな人がこの議論に参加し、メディアをめぐる社会的な立ち位置を作り上げてきたと言えよう。

カールソンはいう。「意味を創り出すうえで、ニュースの文章そのものに重要性があることは確かだ」。**F** これらのニュースの文章が「ニュースをめぐるより広い言説の中に組み込まれている」ことを認識することは、もっと重要であるという。(g)あるニュースが受け入れられるかどうかは、そのニュースの狭義の正確さというよりは、メディア自体の持つ社会的立ち位置、正統性によるところが大きい。こうしてカールソンは、メタジャーナリズム言説という概念を提示し、従来のメディアの拠って立つ正統性が、メディア内外のメディアをめぐる論争、批判の中で構築されてきたことを明らかにした。

このように見ると、21世紀に生じている状況は、まさにアウトサイダー・メディアの登場と既存メディアに対する厳しい批判、視聴者・読者による従来型メディアへの信頼の低下を通じ、「メタジャーナリズム言説」のレベルにおける、既存メディアの正統性が揺らいでいる状況だ、といえるだろう。

特にこの正統性の揺らぎは、若い世代ほど顕著である。2022年に日本で行われた調査では、新聞・テレビから得られる政治情報について、「信頼できない」とする人の比率は、60歳以上の場合22.6%に過ぎないが、18-39歳の若年世代ではその2倍近い40.1%となっている。既存メディアに信を置かない若者が増えることで、既存メディアの正統性が今後足元から掘り崩される可能性を示しているといえよう。

出典：水島治郎『「アウトサイダー」時代のメディアと政治』水島治郎編『アウトサイダー・ポリティクス：ポピュリズム時代の民主主義』岩波書店、2025年。

法政大学大学院  
入学試験問題用紙

試験科目	政治学研究科 政治学専攻 修士課程《外国人》	2026年度 秋季	試験時間
日本語			90分

辞書参照（可・**否**）

[注 意] 解答は、別紙の解答用紙に記入すること。

問1 空欄 A、B に入る語として文脈上最も適切なものを、以下の選択肢の中からそれぞれ1つずつ選びなさい。

【空欄 A】

草の根活動 バイアス 販売網 ファクトチェック

【空欄 B】

政府の立場 学術的視点 一般人の視点 専門家の意見

問2 下線部(C)、(D)をそれぞれ本文の文脈に合うようにより平易な日本語に言い換えなさい。

問3 空欄 E には「メタジャーナリズム言説」の定義が入る。以下の選択肢から1つ選びなさい。

- ア ニュース報道の中で繰り返し用いられる政治用語や専門語彙の総体
- イ ジャーナリズムとは何であるのか、どのように活動すべきかをめぐり、公共的な議論
- ウ 視聴者の立場から、ジャーナリズムの信頼性や公平性を評価する行為
- エ メディアの経営構造や広告収入によるバイアスの影響を批判的に分析するフレームワーク

問4 空欄 F に入るもっとも適切な接続詞（1語）を、文脈に合うように記述しなさい。

問5 下線部(G)で述べられていることがよく表れている具体的な事例を1つ挙げ、その事例を用いて下線部の意味を説明しなさい。

問6 既存メディアに対する信頼性が低下することは、政治にどのような影響を与えられ  
るか。具体的な例（日本でも他国でも構わない）を挙げながら論じなさい。